

# 令和2年度長等小学校評価書

評価:A 満足できる B おおむね満足できる C どちらかと言えば課題がある D 課題がある

| 大項目           | 小項目                                    | 令和元年度<br>自己評価                         | 令和2年度<br>自己評価 | 令和2年度<br>学校関係者<br>評価 | 取り組み状況等  | 学校関係者等の<br>意見、提言等   | 今後の学校改善に向けて  |  |
|---------------|--|---------------------------------------|---------------|----------------------|--|---|--|--|
| 主体的・対話的で深い学び  | 支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践                 | A                                     | A             | A                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>★学力の育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「学びの基礎チャレンジ」3年～6年で実施…弱みは県教委「ガッテン・プリント」活用で補充</li> <li>◎少年数学習の実施（1年・5年、3年）</li> <li>◎「もの」「こと」「ひと」地域の素晴らしさの積極的活用→総合的な学習の時間などの体系化する。</li> <li>◎協同的な学び…『「読み解く力」向上事業』（県指定）</li> <li>◎校内研究…「伝え合い、共に学び合う長等の子を求めて」</li> <li>特別活動（学級活動）で培った探求のプロセス教科指導にも生かす。→主体的協働的に課題解決に取り組む探究的な深い学び</li> <li>「長等スタンダード」の定着                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の進め方（めあて・振り返り）・板書・ノート指導</li> </ul> </li> <li>◎学級活動の充実                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>合意形成を目指す指示的学級風土の醸成・話し合い活動の定着→継続・発展</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>★長等つこタイム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎モジュール授業の実践・交流</li> <li>◎算数・国語を中心とした復習</li> </ul> </li> <li>★「家庭学習の手引き」</li> <li>◎皇子山ブロック共通版の作成・活用、家庭学習の習慣化</li> <li>★図書館教育の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎朝のPTAお話しサークルによる読み聞かせ定着</li> <li>◎選書会…毎年PTAによる図書購入 →おはなしサークルや学校司書の尽力で使いやすい図書室に整備</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長等スタンダードの授業でどの教員も同様の質の指導を行っていることは、子どもの学力向上に大いに寄与している。子どもたちの意欲を伸ばすという意味でも、良い取組だと感じる。また、学習は、基礎基本が大切だと思う。</li> <li>・日本人として知っておいた方が良いこと（「震災等の祈念の日」「小の月の数え方」）はできれば授業で取り上げてほしい。</li> <li>・学級会を充実させて支え合える学級集団を作っていこうという試みは評価できる。</li> <li>・児童はのびのびと、意欲的に学習している。</li> <li>・子どもたちが落ち着いている。学校</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長等スタンダードが定着しつつあり、授業改善に繋がっている。課題を修正しながら、今後も継続して取り組みたい。また、児童それぞれの強み弱みを把握し、「ガッテンプリント」等を活用しながら弱みを克服していく。</li> <li>・今後も、学級会を軸に支持的学級風土の醸成に努める。1年生から系統立てて組織的に進めていく。</li> <li>・家庭学習の習慣化については、来年度以降も「家庭学習の手引き」を配付し、保護者の理解を得ながら充実化を図っていく。</li> </ul>                         |  |
|               | 協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善 | A                                     | A             |                      |  |   |  |  |
|               | 主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会              | A                                     | B             |                      |  |   |  |  |
| 道徳教育の充実       | 生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動の実施  | A                                     | A             | B                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>★いじめ防止                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎いじめ対策委員会の定期的実施</li> <li>◎ストレスマネジメント教育</li> <li>児童会（黄緑リボン運動・なかよし大作戦など）</li> <li>◎「ふりかえりアンケート」実施…課題の発見・解決</li> <li>担任との個別面談・支持的な集団作り</li> </ul> </li> <li>★道徳の授業の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎学級会で培った話し合いの力を生かした授業の実践</li> </ul> </li> <li>★皇子山中学校区の5つの約束の徹底→さらに指導・習慣化を</li> <li>◎「いしづえアンケート」実施…子どもの自尊感情の高まりを検証し、今後の取組の改善に資する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策については、見守り隊の休み時間の見守りも定着しつつあり、組織的な取組がさらに充実してきている。</li> <li>・会議の場所まで案内してくれる子どもがいた。優しい心が育っていると感じた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策では、組織的な対応を更に充実させながら、「早期発見」「早期対応」「組織対応」「再発防止」等に努めたい。</li> <li>・コロナ禍で実施できなかった道徳参観を来年度は行いたい。</li> </ul>  |  |
|               | 道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流            | B                                     | B             |                      |  |   |  |  |
|               | 保護者への道徳科の授業公開                          | A                                     |               |                      |  |   |  |  |
| 体力づくり         | たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善                | A                                     | B             | A                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>★体力向上の取り組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎体力向上月間（毎学期：長等つこ運動タイム）</li> <li>◎体育部通信…体育学習における場の工夫</li> <li>◎市のスポーツランキング・スーパートライへの参加</li> <li>◎健康指導の充実（養護教諭）・食育→日常的な体力作り（体育の宿題等）・体育の授業の充実</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での体育の宿題等、子どもたちの体力を伸ばす取組は継続してほしい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動好きな児童を育成するため、先ずは体育の授業において、場の工夫をし、児童が運動意欲を高めることができるようにする。体育の宿題（体育カード）のさらなる充実も図りたい。また、体力テストの結果を踏まえ、弱みの部分を克服できるように環境整備を行っていききたい。</li> </ul>   |  |
|               | 体力づくりを推進する運動実践                         | A                                     | A             |                      |  |   |  |  |
|               | 体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成      | A                                     | A             |                      |  |   |  |  |
| 指導改善（組織的・計画的） | 学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善                | A                                     | A             | A                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>★教職員の資質・能力の向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎教員の自己研修推奨</li> <li>◎校内研修・OJT研修・校内研究の充実</li> <li>◎働き方改革への取組（退勤時刻の徹底・会議等の精選）→チーム長等・若手教員の育成・コンプライアンスの徹底</li> </ul> </li> <li>★ICT活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎タブレットの導入・積極的活用→パソコン室の有効活用・児童の情報活用能力の伸長</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた環境なので質の高い学習をお願いしたい。学力を上げてほしい。</li> <li>・大変な1年だったが、児童にとって良かったと思える年にしてほしい。コロナ禍の中で教員の皆さんにはご苦労いただいている。</li> <li>・低学年の子どもがしっかりと話を聞いている。指導が素晴らしいと感じた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の研究発表協議会を目標の一つとして、尚一層校内研究やOJTを充実させる。教員集団として、授業研究に前向きな今の良い雰囲気や次年度も継続していきたい。</li> <li>・会議や行事等の精選や校務分掌の見直しとともに、通知票、個別懇談会、参観の在り方や実施方法等の見直しを今後も進め、働き方改革にもつなげていく。</li> </ul>   |  |
|               | 教職員の指導力及び組織的な教育力の向上                    | A                                     | A             |                      |  |   |  |  |
|               | 働き方改革の取組と教育活動の質の改善                     | B                                     | B             |                      |  |   |  |  |
| 育ちと学びを支える連携   | 家庭・地域との連携                              | 保護者の子育てに対する積極的な支援                     | B             | B                    | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>★保護者・地域の方々との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校通信（地域配付）発行・ホームページの充実</li> <li>◎参観・懇談会の実施…PTAと協同・保護者同士の連携も図る。</li> </ul> </li> <li>★学校運営協議会の実施（コミュニティスクール）</li> <li>◎それぞれのお立場から学校運営に対する貴重な意見をいただき、学校運営に生かしている。</li> <li>★教育相談による保護者支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎スクールカウンセラー・関係機関との連携も密に</li> </ul> </li> <li>★危機管理対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎感染症対策や熱中症対策等、教職員で共通理解したマニュアルを用いて安全対策を行っている。</li> <li>◎不審者侵入等に係る避難訓練・緊急下校訓練を実施し、さらに児童の危機管理意識を高める指導</li> </ul> </li> <li>★児童の登下校の安全指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域やPTAの方々による日々の見守り強化</li> <li>◎教員による下校指導の実施</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達を見守る活動を通して、たくましい子ども達を育て、力を発揮できるようにしてやりたい。登下校に限っても、自分で自分を守ることができるようになってほしい。</li> <li>・家で食事は家族のコミュニケーションの場なので大切にしていきたい。</li> <li>・挨拶等の人間の基本的なことは、家庭教育でもやっていただきたい。</li> <li>・小学校発信で親同士の交流ができれば良いと考える。</li> <li>・5年生総合的な学習の「長等プロジェクト」はとて良い取組なので継続してほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに対して悩みをもっておられる保護者が増えている。今後も各専門機関等との連携を強化し相談していきたい。</li> <li>・学校評価を生かした学校経営については、PDCAサイクルの効果的な実施を図り、実のある学校改善につなげていきたい。</li> <li>・学校運営協議会の機能は、今後学区のまちづくり協議会等との連携をさらに充実させ、十分に活用していく。</li> <li>・地域やPTAの方々による児童の登下校時の見守りについては、今後も密に連携を図りながら、児童の安全を守っていききたい。</li> </ul> |
|               |  | 保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用 | A             | B                    |  |   |  |  |
|               |  | 防災教育の推進と安心・安全な学校づくり                   | A             | A                    |  |   |  |  |
|               | 保幼小中の連携                                | 子どもの校種間交流や教員の出前授業                     | A             | A                    | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>★校種間交流の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎OSK会議…皇子山ブロック学校の代表児童による話し合いが定例化</li> <li>◎生徒による職場体験活動の受け入れ</li> <li>◎本校と幼稚園の校内・園内研究会へそれぞれの教諭の参加、研究大会の共同開催</li> <li>◎幼稚園の作品店等を見学・参観</li> <li>◎居住地校交流（県立北大津養護学校の児童）定着</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の研究発表協議会では、長等幼稚園と小学校が連携できていることが分かった。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度長等幼稚園と共催した研究発表協議会が、県内外の学校関係者の方々に好評を博した。今後も、日常的にそれぞれの校内（園内）研究等の交流を行い相互理解を深めながら研修を進めたい。</li> <li>・中学校とは、教員間での学級会や「長等スタンダード」の交流を進め、小学校での活動で育んだ児童の力を中学校でも生かしてもらえるようにしていきたい。</li> </ul>  |
|               |  | 校種間の授業公開や合同研修会                        | A             | A                    |  |   |  |  |
|               |  | 保幼小の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究          | B             | B                    |  |   |  |  |
| 組織的体制の充実      | 生徒指導体制の充実                              | いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導  | A             | A                    | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>★生徒指導・教育相談の組織的対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎報連相の定着</li> <li>◎迅速な聞き取りや児童への指導・保護者対応</li> <li>◎日常的に関係機関や地域との連携を図る。</li> <li>◎「ふりかえりアンケート」実施…課題の発見・解決</li> <li>担任との個別面談・支持的な集団作り</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年の子どもを中心に気持ちの良い挨拶をしてくれる。</li> <li>・児童の声が小さくなって自信を失っているように感じた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導については、常に最悪の事態を想定しながら、対応していきたい。また、組織的な対応をさらに充実させながら、「早期発見」「早期対応」「組織対応」「再発防止」等に努めたい。</li> <li>・教育相談については、課題のある児童に寄り添いながら、保護者や関係機関、スクールカウンセラー等と連携を密にしながら、今後も組織対応を心がけていく。</li> </ul>   |
|               |  | 生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進                 | A             | A                    |  |   |  |  |
|               |  | 家庭・地域・関係機関との連携による指導                   | A             | A                    |  |   |  |  |
|               | 特別支援教育の充実                              | 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用              | B             | A                    | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>★特別支援教育の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◎個別の指導計画の作成・活用・見直し</li> <li>◎学校生活支援員の計画的な活用</li> <li>要支援児童の増加…支援員の増員を要望</li> <li>◎さくら学級「ふれあい学習」</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別に支援を要する児童が増えており、人的な支援が少ない中、指導の難しさを感じる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育については、さらに各関係機関との連携を強化すると共に、個別の指導計画を有効に活用しながら課題をもつ児童への的確な支援や就学相談を心がけていきたい。また、特別支援学級児童への理解を深めるために、特別支援学級の担任が通常学級で授業を行う「ふれあい学習」をさらに充実させていきたい。</li> </ul>  |
|               |  | 組織的・計画的な特別支援教育体制の確立                   | B             | A                    |  |   |  |  |
|               |  | 関係機関と連携した相談体制の充実                      | A             | A                    |  |   |  |  |